

令和3年度「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」地域課題

地域課題 1	熊本県 企画振興部 企画課
課題タイトル	令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続に必要な取組みについて
課題の概要 (背景や理由等)	<p>令和2年7月豪雨において、特に甚大な被害を受けた球磨川流域市町村※及び津奈木町は、災害以前から人口減少と地域経済活動縮小の悪循環に陥っていた。中でも人口減少については、特に15～19歳の若者の人口流出が顕著であった。(※八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村の12市町村)</p> <p>また、過去の大規模災害によって人口変動が生じることも報告されている(※1)。このため、当該地域においても、更なる人口減少や経済活動縮小を抑制し地域を持続させるためには、現状の地域の課題を把握し、それに適切に対応していく必要がある。</p> <p>そこで、今回の政策提案では、球磨川流域市町村及び津奈木町のいずれかの市町村を対象に地域の課題を見つけて、分析するとともに、その課題を解決するような政策を提案していただきたいと考えている。</p> <p>(※1) 災害と人口変動に関する文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水谷武司,地理学評論 62 A-3 P208-224(1989)</li> <li>・曾我部哲人,(公社)日本都市計画学会都市計画論文集Vol55 No3 P1107-1112(2020)</li> <li>・飯島賢志,アドミニストレーション 第24巻第2号 P55-69(2018) 等</li> </ul>
備考	<p>対象となる自治体の課題については、各種統計データ(※2)や各市町村が策定している「復興計画」(※3)を参考に分析してください。</p> <p>(※2) RESAS (<a href="https://resas.go.jp/#/13/13101">https://resas.go.jp/#/13/13101</a>)、 e-stat (<a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a>) 等</p> <p>(※3) 人吉市復興計画「第5章 未来につながるまちづくり」 八代市坂本町復興計画「第4章 復興に向けた取り組み」 球磨村復興計画「第5章 復興に向けた計画体系」 等</p>
地域課題 2	熊本市 政策局 総合政策部 政策企画課
課題タイトル	大規模災害(津波、高潮、地震、洪水等)時の避難方法について
課題の概要 (背景や理由等)	<p>令和3年4月14日で平成28年熊本地震から5年を迎えた。</p> <p>本市においても大きな節目を迎えるにあたり、防災に関する取組を推進しているところである。令和2年度には新たな取組として、市民の皆様には災害発災時のリスクを事前に把握して頂くために、熊本市ハザードマップの全戸配布、ホームページ上でのハザードマップの公開を行っている。</p> <p>このような防災に関する全市的な取組を行っているものの、大規模災害時の避難方法は各地域の特性(高潮リスクが高いなど)があるため、地域の実情に応じた対応が必要である。</p> <p>そこで、今回の政策提言では、各地域における災害リスクについて熊本市ハザードマップなどを活用した分析を行って頂き、各地域の特徴(高齢者が多いなど)や問題点などを例示頂いた上で、大規模災害時の避難方法に関する提言を頂きたいと考えている。</p>
備考	<p>熊本市ハザードマップ (洪水・高潮・地震・津波・液状化)</p> <p><a href="https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&amp;id=2121">https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&amp;id=2121</a></p>